

ゆうあい

ひさびさの両面刷りでお届け

8. 9月の出来事

8月 8日	作業日
22日	作業日
9月 7日	緊急閉園 (台風のため)
12日	作業日
19日	7日の代替日
26日	作業日

生活介護の様子

フルーツキャップ折り返し、DM封入、脳トレ、ぬり絵、削り絵などを行いました。

就労継続支援B型の様子

お菓子の香梅さん（武者がえし、姫ナイフ）、インターナショナルミカさん（フルーツキャップ W-7. W-9. W-11）、山内本店さん（味噌蓋シール貼り）、釜屋さん（白ごま6本封入、各種シール貼り、すべすヴェーダ封入）、チューインさん（封入作業、組立）、アイキャッチ（カレンダー封入）より作業を受注しました。自主製品は、ALFIO様、九州学院中学野球部様より受注しました。

10. 11月の予定

10月10日	作業日
24日	作業日
11月14日	作業日
28日	作業日

もうしばらくは、行事を控えます。ご協力よろしくお願ひします。

S18年 渡邊由彦氏誕生(9月9日)

S20年 第二次世界大戦終戦

S35年 河野浩一氏誕生(4月11日)

熊本空港開港

熊本城天守閣再建

S44年 熊本交通センター開業

H 2年 雲仙普賢岳噴火

H17年 平成の大合併

H22年 くまモン誕生

H28年 熊本地震発生

R 2年 サクラマチくまもと開業

祝喜寿&還暦



9月23日に、渡邊由彦さんの喜寿、河野浩一さんの還暦のお祝いをみんなで行いました。

利用者さんには説明しましたが、喜寿は漢字の「喜」の草書体が漢字の七十七に似ていることに由来していると言われていています。元々「喜」もよろこぶという字です。また、還暦は、60年で十干十二支が一巡してもとの暦に還（かえ）ることから、60歳の誕生日を「暦が一巡するまで長生きした」という意味でのお祝いだそうです。

めでたい二人を前に、皆さんも喜びを分けさせていただきました。

吉住さんが主張する…

最近の出来事…【外来生物編】

外来生物(外来種)とは、「もともとその地域にいなかったのに、人間の活動によって意図的・非意図的に持ち込まれた生きもの」を指すそうです。人に飼われていた外来生物が捨てられたり逃げ出したりしてその地に住み着き、従来の自然環境や在来生物に深刻な影響を与えます。

実際に外来生物を見たのは今から30年近く前で、場所は江津湖にあった植物園天然プール跡地にブルーギルの幼魚(体長1~2cmほど)がいたのを思い出されます。その当時は外来種とは言わず熱帯魚と呼び、目新しい生き物として認識をしており、捕まえてきたブルーギルは水槽に入れて飼育することもありました。

つい最近、自宅周辺の農業用水路に魚群がうごめいているのを見て覗き込んでみると、昔からいる黒鯉やフナとは違う白い縦線のはいった魚が素早く泳ぎ回っていました。網で捕獲するとそれはブルーギルで、体長が40cmを超える成魚でした。魚の群れをよく見ると黒鯉は数匹でフナはほとんどいません。次に深みのある水路を見てみるとそこには口をパクパク(酸欠状態)させたブラックバスが方々にいて、ここは地元の水辺なのかと驚くばかりでした。江津湖を含めた緑川水系は、今では外来種天国になっているようです。

より環境に適合したものが勢力をのばすのは世の常ですが、浅瀬の方ではメダカやハヤが泳いでいるのを見てフツと安心することができました。社会の営みにおいても一方だけが強まるのはよろしいことではなく、互いに共存して住み分けをすることも大事だとつくづく思わせる出来事になりました。

注釈) 黒鯉は大陸から持ち込まれた魚で、外来生物リストに載っています。



おしらせ

退園

昨年7月から友愛育成園を利用されていた
峯奈穂美さんが、9月18日をもって、ご家庭の都合により退園されました。

退職

長年勤めて頂いた米村映子作業支援員が、
10月17日付けで退職されます。長い間お疲れ様でした。

新任

やっと調理員さんが見つかりました。新しい調理員さんは、堺悦子さんです。よろしくお祈りします。

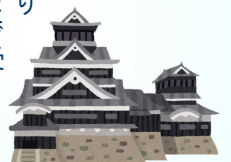


坂本がざれごとをつれづれと

「戯れ言徒然」

第一六一言

復興祈願



第八代にいたそうな

いろいろと下向きな話題ばかりが目につく昨今ですが、熊本にとつてはうれしい話題が！秋場所優勝しましたね「正代」。普段は、あまり相撲も見えない私ですがさすがにこの日ばかりは、期待してテレビの前に座っておりまして。優勝はしたものの最後の一番の危ないこと。勢いだけなら完全に翔猿(とびざる)が勝っていました。最後の最後で正代のうまさが出た相撲だったと思います。この優勝で大関昇進も約束され、気が早いところでは横綱なんて言葉も飛び出しているようです。

さて、宇土市出身の正代ですが、宇土にはひとり大横綱が生まれてます。名前は「不知火諾右衛門(しらぬいだくえもん)」。活躍した時代は江戸までさかのぼります。体格は身長約175cm、体重約135kgだったといいますが、さすがに目を見張ります。

たと思います。何よりもすごいのは、現在まで受け継がれている「不知火型土俵入り」の生みの親だということです。(※諸説あるようです)今、不知火型の土俵入りをする横綱といえば白鵬。実は不知火型にはジंकウスがつきまわって、この土俵入りの横綱は在位が短命だとのこと。しかし、白鵬を見ればそうともいえませんよね。近い将来、「横綱正代、不知火型の土俵入りです」なんてアナウンスがテレビから流れる日が来るかもしれないという、楽しみは増えました。ちなみに、正代関の本名は正代直也。横綱まで昇進したら、しこ名は正代じやないかもしれませんが、それなら不知火を名乗ってほしいと思う余韻の日々です。(過去に書いた毒の部分は、正代の名誉もありますので、今回はやめときます。)

職員一行月記

「私事で恐縮です」



早く慣れるぞ~ 【E】

夢が視野を広げるの巻。 【にゃんこ】

秋の味覚を満喫したいです!!! 【K】

まだまだ先は見えない【吾】

新しい出会いルンルン (*^o^*) 【CHI】

免疫力で乗り切ろう! 【レバー】

気楽にいきましょう(笑) 【喬之介】

